

博報堂DYホールディングス、クリエイティブ・ボランティアとして
国連開発計画(UNDP)の「SDG インパクト」普及のための特設サイト制作
—UNDP 総裁アヒム・シュタイナー氏より感謝状贈呈—

株式会社博報堂DYホールディングスは、国連開発計画(UNDP)が2018年より世界各国で進めている「SDG インパクト」の取り組み普及のための特設サイトを制作いたしました。

また、世界に先駆けて「SDG インパクト基準研修」を日本で開始するために3年ぶりに来日したUNDPのアヒム・シュタイナー総裁より、当社のクリエイティブ・ボランティアの活動に対して、感謝状を贈呈されました。

SDGsの目標期限である2030年まであと8年を切りましたが、SDGsは多くの企業や組織の事業活動に導入されてきています。次の段階として、より本質的な経営・事業の中核にSDGsを組み込み、実践し、社会課題解決に向けたインパクトを創出していく必要があります。これらの活動をわかりやすく説明するために「SDG インパクト」特設サイト制作にご協力いたしました。このサイトでは、「SDG インパクト」の濃い内容を最大限わかりやすく、かつ各種関連情報に迷わずたどり着けるように情報整理とデザインを行い、インパクトがありつつも本プロジェクトの第一歩としてふさわしい佇まいになるよう表現いたしました。

また、7月14日に世界に先駆けて行われた「SDG インパクト基準研修」のグローバル発表会において、UNDPのアヒム・シュタイナー総裁より、以下のコメントと共に感謝状を贈呈されました。



【アヒム・シュタイナー総裁コメント】

「博報堂DYグループの皆さんには、このプロジェクトにもたらしたビジョンだけでなく、プロフェッショナリズム、力量、そしてコミットメントに対して、まずお礼を申し上げたいと思います。

私たちは、皆さんと一緒に仕事ができることを、本当に誇りに思っています。

今回は、会社として取り組んでくださったものではありませんが、

会社全体だけでなく、関わっていただいたひとりひとりに感謝しています。

みなさんのコミットメントの高さに加えて、御社とパートナーシップを築いたことで、わたしたちは、この仕事を前に進めることができました。
このプロジェクトは、官民一体となったサクセス・ストーリーです。
みなさまの貢献に、改めて感謝いたします。
これからも、私たちと共に歩んでいきましょう。」

感謝状を贈呈され、当活動のプロデューサーを務める博報堂D Yホールディングス SDGs 推進担当部長の川廷昌弘は、以下のように挨拶いたしました。

「これまでわたしたち博報堂D Yホールディングスは、UNDP のみなさんとコミュニケーション活動においてパートナーシップを深めてきました。

2019 年には「ADP=新規医療技術のアクセスと提供に関するパートナーシップ」のパンフレットを、2021 年には「UNDP 民間連携ウェブサイト」を、制作しました。そして今回の「SDG インパクト」の普及サイトです。

これらの制作でわたしたちが知り得たのは、SDGs 達成に向けた UNDP の役割と、国際協力における企業の役割の重要性です。

これまでのクリエイティブ・ボランティアは、いずれも若手社員の柔軟で自由な発想によって、お手伝いをさせていただきました。わたしたちにとっては、貴重な社員の育成の機会にもなっています。

わたしたち博報堂D Yホールディングスは、生活者発想とパートナー主義をポリシーに、生活者と社会の幸せを生み、つなげ、ともに広げていくことを目指しています。

これからも UNDP の皆さんとのパートナーシップを大切し、SDGs 達成に貢献してまいります。シュタイナー総裁、UNDP のみなさま、本日はありがとうございました。」



**SDGsで、
ビジネスにも驚きの効果を！**

 **SDG Impact**

SDGsが、社会全体のテーマになっています。
しかし、ヒトと地球に配慮した経営が、
自社の利益とどう両立するのか、
わからない人も多いのではないのでしょうか。
どうかたちでSDGsに取り組むと、
ビジネスの本質的な成長につながるのか。
社会課題の解決にもつながっていくのか。
それをしっかり学べて、実践できる仕組み。
それが、SDGインパクトです。

<https://sdgimpact-jp.org/>

【「SDG インパクト」特設サイト スタッフリスト】

プロデューサー：川廷昌弘（博報堂D Yホールディングス）
クリエイティブディレクター/コピーライター：井口雄大（博報堂）
アートディレクター：清水千春（博報堂）
コピーライター：高橋かのん（博報堂）
ウェブ制作プロデューサー：石割竜輝（博報堂アイ・スタジオ）
ウェブ制作ディレクター：笠原実祥（博報堂アイ・スタジオ）
ウェブ制作デザイナー：小坂夏未（博報堂アイ・スタジオ）
ウェブ制作エンジニア：福本真知（博報堂アイ・スタジオ）

博報堂D Yホールディングスは、サステナビリティゴールである「生活者一人ひとりが、自分らしく、いきいきと生きていける社会の実現」を目指すことを掲げ、気候変動対策や健康経営をはじめとしたサステナビリティへの取組みを推進しています。

博報堂D Yホールディングスは、中期経営計画^{※1}において取り組むべき重要なテーマの1つとして、「サステナブルな企業経営のための基盤強化」を位置付けており、今後もグループを挙げてサステナブルな経営環境を整備してまいります。

※1 博報堂D Yホールディングスの中期経営計画はこちら。

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/group/businessplan.html>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 西尾・戸田
TEL:03-6441-9062 e-mail:koho.mail@hakuhodo.co.jp